

AI時代のキオクシア：コア技術の進化と次世代へのフルスタック戦略

収益基盤の高度化と圧倒的な生産体制



第10世代「BiCS FLASH」による市場再定義

332層の積層により、従来比で速度33%向上、電力効率30%改善を達成。



AI実装工場「K2棟」の稼働と巨額投資

岩手県北上工場K2棟が2025年9月に稼働開始。政府による数千億円規模の助成を活用。



財務実績の劇的回復と過去最高益の更新

2026年3月期 純利益**5,544億円**

売上・利益ともに過去最高を更新。

約7,290億円

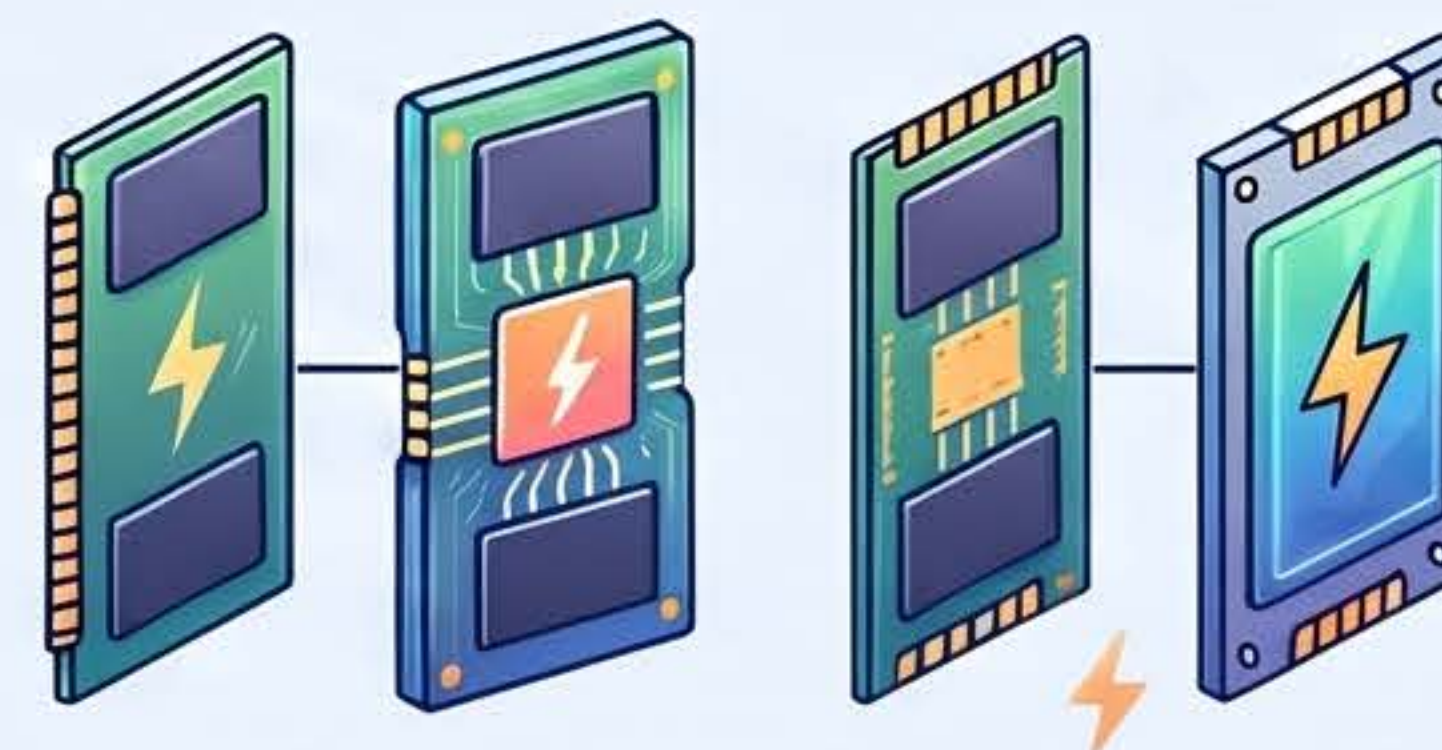


AIインフラを支える次世代技術とソフトウェア



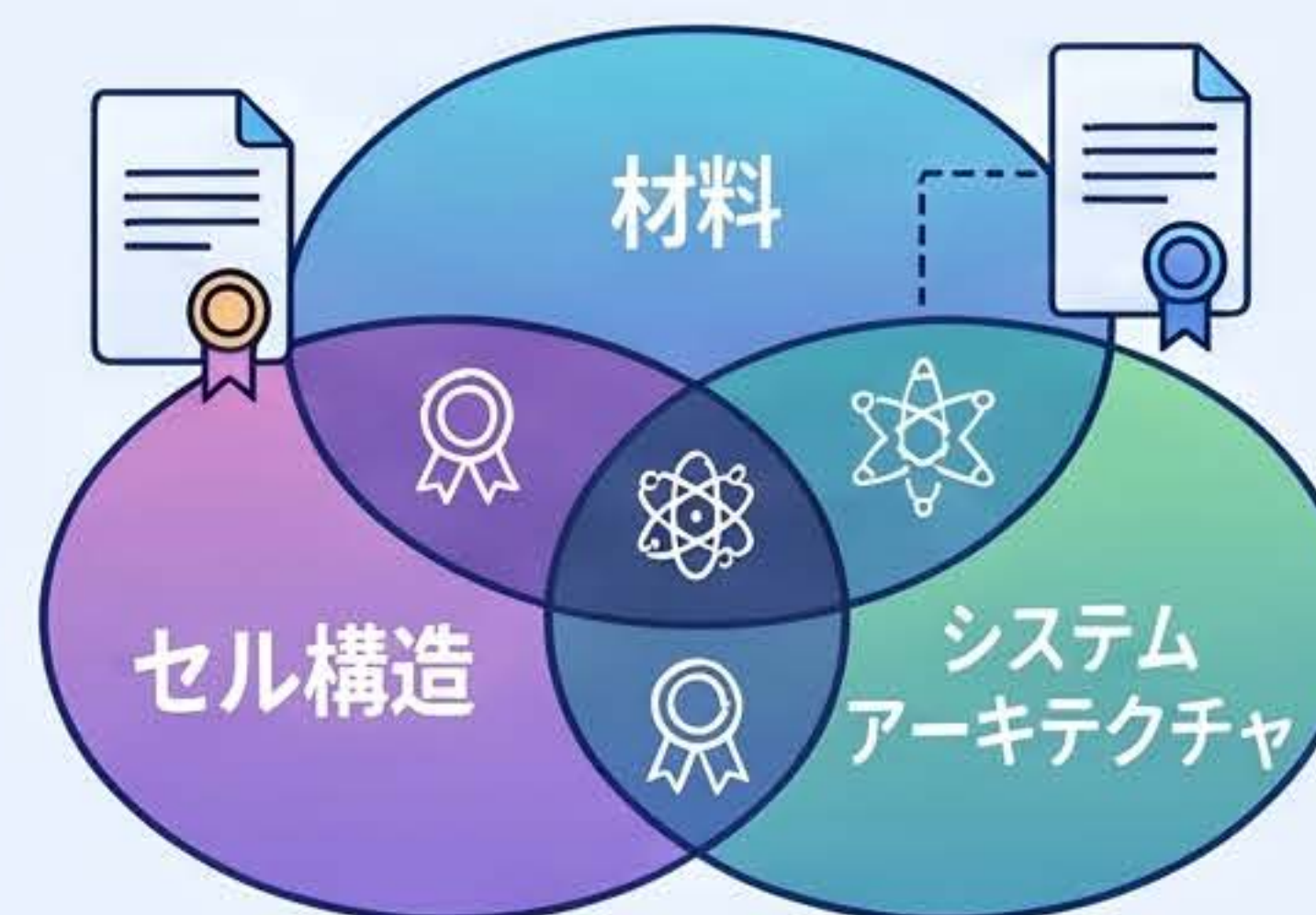
生成AI用ベクトル探索ソフト「AiSAQ」

SSD活用とGPU加速により、インデックス構築時間を最大20倍高速化。



次世代メモリ「MRAM」と「OCTRAM」

SRAMに匹敵する高速MRAMや、2030年代の実用化を目指す低消費電力OCTRAMを開発。



知財が示す「フルスタック」アプローチ

材料、セル構造からシステムアーキテクチャまで、技術階層を横断する特許網を構築。